



総社市生活困窮支援センター事業説明会

生活困窮者への支援

- 何が必要でしょうか？
- どんな取り組みができる？
- どのような関わり（連携）ができる？



【主な意見(まとめ)】

- ◆生活困窮者支援は**市民生活を包括的に支える**ことが重要！（官学民一体⇔車の両輪）
- ◆公共料金等の滞納者については、相談につなぐレベルの見極めや**ルールづくり**が必要。そのラインを議論するのが「協議会」である！
- ◆孤立している家庭はあるが、自立するためには**地域とのつながりが必要**！→協力します！
- ◆生活困窮者やひきこもりの方は、すぐに就労ではなく、いくつかの**段階が必要⇒居場所づくり**が必要！
- ◆支援を行うなかで、**マンパワーにも限界**がある。**地域で支える仕組み**をつくることで課題の解決を図る
- ◆声をあげられない人・声を吸い上げる**連携が必要**（ニーズキャッチする仕組みをみんなで創ろう）

★今後の課題

- ①官学民一体で
支える仕組みづくり
- ②支援ネットワークの構築
（協議会の設置・支援調整会議）
- ③支援アイテムや資源開発
- ④中間的就労の場を開発
（居場所・体験・住居・交流）
- ⑤心に寄り添う支援・信頼関係